

よいことの Weekly Report ために 2025-2026 手を取りあおう



創 立 1969 年 4 月 14 日
承 認 1969 年 4 月 23 日
チャーターナイト 1969 年 11 月 9 日
発 行 I T・広報委員会

会長：鈴木雅博 / 幹事：堀井実 / 副会長：遠藤直樹 / 会長エレクト：藤田俊和 / 副幹事：岡田和幸 / S.A.A: 松岡寛征

今週のプログラム	第 2652 回	12 月 12 日
年次総会		
担 当 者	会長・幹事・各委員長	例 会 場 J R ホテルクレメント高松

先週のプログラム	第 2651 回	12 月 5 日
客話：さぬき動物愛護センター（しっぽの森）次長 平田 愛 様		
担 当 者	プログラム委員会	例 会 場 J R ホテルクレメント高松



鈴木会長挨拶

・皆さま、こんにちは。
本日は本年度に掲げました地域への奉仕活動のひとつであります「保護動物への愛護活動事業」の対象施設であります公洲公園にある「しっぽの森」の次長平田様にお話をいただく予定となっております。
これを機会に皆様と「命の大切さ」を考えていけたらと思っています。
それでは本日も最後までよろしくお願いします。

出席報告		出席委員長：大西一正	
会 員 数 /	44 名	出席規準数 /	40 名
出席者数 /	29 名	欠 席 者 数 /	11 名
出 席 率 /	72.50%	ビ ジ タ ー /	0 名
最終出席率 /11 月 14 日		60.98% → 65.85%	

メイクアップ

11月25日 高松東RC 泉谷
12月 1日 高松北RC 岡
12月 4日 高松RC 入谷

堀井幹事報告

- 回覧 ・高松RC活動計画書、2024-2025年12月6日2670地区概況、2025-2026青少年短期プログラム報告書、書き損じ葉書キャンペーンが届いておりますので、回覧に回します。
- 配布 ・当クラブが協賛した第6回高松国際ピアノコンクールのチラシが受付の机の上にありますので、希望者はお取り下さい。
- 配付 ・ロータリーの友12月号が届いておりますので、個人BOXの中に入れてあります。
- ・後期の会費の請求書が個人BOXの中に入っていますので、お持ち帰りください。

公共イメージ向上委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂いたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。
題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構ですので投稿していただきます様、宜しくお願い申し上げます。


12月12日 今日は何の日	今日生まれの有名人
イーブイの日/任天堂の日/カキフライの日	1976年 瀬戸朝香 1985年 貫地谷しほり
1980年 日本の自動車生産台数が1100万台突破で世界一	1944年 舟木一夫 1984年 平愛梨
1988年 岩波書店が絵本『ちびくろサンボ』を絶版とする	1903年 小津安二郎 1982年 加藤あい
誕生花 「デンドロビウム」花言葉は“わがままな美人・魅惑”	
誕生石 「アコヤパール」宝石言葉は“長寿・純潔・純粋無垢・円満”	

四 つ の テ ス ト
言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



ニコニコBOX	
じいちゃんになりました。	磯崎
遅くいりましたが誕生プレゼントありがとうございました。	中井
長い間ありがとうございました。	池上
誕生プレゼントいただいてありがとうございます。	梶原
誕生祝を頂いて。	島谷
誕生祝を頂いて。	木内
池上様RCでもお世話になり、個人的にもお世話になりありがとうございました。	大西
遅刻・早退	2件
合計 9 件	
本 日 の 合 計	38,000 円
2025-2026 年 度 累 計	330,500 円

RI 会長からのメッセージ（12月）



健康と幸せのために

フランチェスコ・アレツツォ
2025-26年度 国際ロータリー(RI)会長

今月号の公式雑誌『Rotary』の特集テーマは「幸福」です。幸福とは人間が最も本能的に求める最も根源的な願いの一つです。それは単に感情ではなく前向きで健やかな心の状態であり、それを生み出し、維持するための環境は、全ての人にとっての普遍的な権利であるものです。

12月はまた、ロータリーの「疾病予防と治療月間」であり、身体健康だけでなく、メンタルヘルスを含めたロータリー会員の取り組みに注目する月です。世界保健機関(WHO)の最近の報告書によると、世界ではほぼ7人に1人が何らかの精神疾患を患っています。それにもかかわらず、うつ病に苦しむ人で適切な治療を受けているのは、そのうちわずか9%にとどまっています。

幸いロータリーには、心の健康と幸福を支える強力な方法があります。それは「友情」です。ロータリーで築かれるつながりは、変化を生む強い力となり得ることを、私は実体験から学びました。

クラブの仲間たちが私をクラブ会長に推薦してくれた時、私は躊躇うちよ躊躇しました。吃きつおん音があり、人前で話すのが怖かったのです。しかし、クラブの仲間たちが私を支え、愛情で包んでくれたおかげで、恐怖に立ち向かうことができました。そして人前に堂々と立つすべを見いだすことができたのです。

今日、私は何千人もの聴衆を前に、母国語ではない言語で定期的にスピーチをしています。出会ったロータリー会員たちは、私自身の内面に持続的な変化をもたらしてくれました。

このような友情は、世界に持続可能な変化をもたらすための勇気と手段を与えてくれます。一方、メンタルヘルスに関するサービスは非常に改善の余地があります。WHOの報告によると、各国政府がメンタルヘルスに充てる平均予算は保健予算のわずか2%で、そのうち地域密着型サービスに充てるのは11%のみです。研修を受けたメンタルヘルス専門家が人口10万人に1人しかいない国もあります。WHOは、この不足を埋めるための戦略的かつ緊急の行動を呼びかけています。

ロータリーはこの呼びかけに応えることができます。クラブでメンタルヘルスへの認識を高め、地域の医療体制と連携し、医療従事者のための研修を支援し、医療が行き届いていない地域に医療を提供する取り組みを支援できます。メンタルヘルスへの小さな投資も、社会全体の生産性や公衆衛生、幸福度において大きな成果をもたらします。

世界に持続可能な変化を生みつつ、互いを大切にすることも忘れてはなりません。ゴードン・マッキナリー元RI会長は、「ただ『元気?』と聞くのではなく、『本当のところどう?』と問いかけることが大切だ」という気付きを与えてくれました。

新たな可能性に満ちた新年を迎えるに当たり、癒やし、友情、そして幸せのために、よいことのために手を取りあってみましょう。

高松市の小学生にプログラミング普及支援

高松西ロータリークラブはパソコンと支援金を寄贈

高松西ロータリークラブは青少年健全育成の一環として、NPO法人ミライキッズプロジェクトが取り組んでいるプログラミング体験会にパソコン8台と支援金を寄贈しました。此れはロータリー財団の今年度地区補助金が認可されたもので、昨年に次ぎ2回目です。

11月8日高松市上林町の大西・アオイ記念館で行われた贈呈式には体験会に参加した9組の親子や関係者等が出席しました。まず高松西ロータリークラブの堀井実幹事が「未来を担うことも達が小さい頃からパソコンに親しみ理解を深める事は素晴らしい、本当に頼もしい限りです」と挨拶をしました。そしてこの代表に目録を手渡しました。これを受けNPO法人ミライキッズ香川事務局の上原訓局長が「皆さんの御支援がこれも達の励みになります。現在年6回開催している体験会も増やし有効活用します」と謝辞を述べました。また野口一臣RI財団委員長がロータリーは「ボリオ模倣や交換留学生等世界規模の奉仕活動と共に地域に密着したこの様な取り組みにも力を注いでいます」とロータリーへの理解を求めると共に関係方面に感謝と協力を述べました。今度の寄贈式にあたってはミライキッズプロジェクト顧問の橋本豊春氏の尽力が有りました事付け加えておきます。高松西ロータリークラブは過去にミヤンマーでの小学校校舎建設、医療器具寄贈、モンゴルでフェルト製品作成訓練、玉藻公園西入口の看板、高松市庁舎正面の黒松寄贈等が有ります。

尚、高松西ロータリークラブの当日出席者は次の方々です。堀井実幹事、野口一臣財団委員長、泉谷正紀副委員長、江島繁夫前会長、岩本達也前幹事、中條いく子事務局員以上

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary



次週のプログラム		第 2653 回	12 月 19 日
クリスマス家族例会			
担 当 者	親睦活動委員長		例 会 場 LLOYDS